

## 令和2年度 指定管理施設運営状況中間評価表

### 1. 施設の概要

施設の名称	大畑中央公園	
指定管理者	団体名	一般財団法人むつ市教育振興会
	代表者	理事長 花山 俊春
	所在地	むつ市大畑町観音堂25-1
指定期間	令和2年4月1日～令和5年3月31日（3年間）	
指定管理業務の概要	<p>管理業務の目的 むつ市の体育スポーツ振興を図るとともに、生活や文化の向上に寄与することを目的とする。</p> <p>管理業務の範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大畑中央公園の施設管理維持に関すること。</li> <li>・大畑中央公園の広報及び利用促進に関すること。</li> <li>・体育並びにスポーツを通じて地域住民の健康及び体力の向上のため施設提供に関すること。</li> <li>・上記に掲げるもののほか施設管理上必要と認められる業務に関すること。</li> </ul>	

### 2. 収支の状況 ※消費税及び地方消費税を含んだ額を計上すること。自主事業分は含まないこと。

※原則として他会計からの繰入金及び他会計への繰出金は含まないこと。

※人件費には、経常の指定管理業務にかかる人件費のみを記載し、臨時的な日雇い雇用などの賃金を含まないこと。

単位：千円

区 分	年間計画額①	上半期実績額②	増 減 (②-①)
収入合計(A)	47,705	23,690	▲24,015
うち利用料金額	2,210	988	▲1,222
うち指定管理料	45,405	22,702	▲22,703
支出合計(B)	47,705	21,394	▲26,311
うち人件費	22,654	11,835	▲10,819
収支差(A-B)	0	2,296	2,296
市への納入金	0	0	0
計画額と比較した実績額の増減理由	<p>収入について 計画との増減については、「2. 収支の状況」及び「3. 施設利用の状況」に記載した表のとおりである。</p> <p>施設全体の収入は、前年に比べ440,400円減少しており、前年対比は69%である。</p> <p>プールについて、施設休止期間があったことから前年と比べて利用者数は1,398人、利用料収入は303,080円少なかった。コロナ禍の行動自粛もあり新たな利用につながっていない状況である。</p> <p>夏休みは小・中学校で短縮となり、お盆の帰省による一般利用も少なく、特に幼稚園、保育園の団体利用が少なかったことなどが要因である。</p> <p>しかし、自主事業の水泳教室を7月から行うことで利用者数の減少に歯止</p>		

めをかけた。  
 中体連水泳競技の会場となり新たな利用も増えた。今期はコロナ禍の影響で関係者のみの利用だったが練習等の波及効果を期待している。

野球場について、春の影響も引きずっており、前年と比べて利用者数は59人、利用料収入は39,400円少なかった。大会規模は入場者数の制限と感染拡大防止のため小さくなっており、大会の中止が相次いだことが要因である。

しかし、自主事業の少年軟式野球大会「第2回あさひな杯」を開催するなど、施設の安全性をアピールして更なる集客に努めている。

スポーツ団体においては、野球関係者に限らず、ガイドラインに沿った対応をして安全な使用をしており、感染症防止対策の協力に感謝している。

庭球場について、学生の利用が少なく、前年と比べて268人、利用料収入は33,850円少なかった。春の大会中止とその練習機会がなくなったことが大きい。9月に入り回復の傾向があるものの計画に届かない状況である。

陸上競技場について、フィールドを使用する大会が中止となり、ほとんどの利用は規模が縮小されており、利用者数は2,160人、利用料収入は64,070円少なかった。サッカーの大規模大会の中止の影響が大きい。

#### 支出について

事業経費について、燃料費、電気料、水道料は、施設の休止並びに利用者の減少もあることから縮減となっている。燃料費は、前年に比べて燃料単価が落ち着いたことも支出額の抑制となった。水道料はプールへの直管が整備され、雨量が多かったこともあり芝生への散水の回数も少なく節減になった。

施設の維持管理については、計画的に実施しており、施設設備の安全と性能について適切に実施した。

### 3. 施設利用の状況

単位：人

	区 分	年間計画 ①	上半期実績 ②	増 減 (②-①)
利用者数	プール	1,800	835	▲965
	野球場	190	98	▲92
	庭球場	70	20	▲50
	陸上競技場	150	35	▲115

利用者の声とその対応状況 ※利用者アンケートの実施 (有・無)

利用者の声は、意見箱を設置して利用者ニーズの把握に努めた。ホームページからも意見や要望を送信できるようにしている。

意見箱で受けた意見等については、全員で検証しており、改善すべき部分は具体的な対策を持って対応している。

意見箱、及びホームページからの送信への回答は、プール棟廊下に掲示板を設けており利用者にも報告を兼ねて公表している。

意見の内容は、好意的な意見が多い。中には要望も含まれており、月次報告や口頭により担当課に申し送りしている。特に施設設備に係る備品等について、数年に渡る要望の物品が予算化されな

い部分は、誠意ある説明、又は創意工夫を持って対応している。

利用者からの苦情については、真摯に受け止めている。施設管理者側の真意を丁寧に説明しご理解とご協力を得られるよう、速やかに、事実に基づき、誠意を持って対応することを徹底している。

#### 4. 自主事業の実施状況

単位：人、千円

事業名	利用者数	収入	支出
スポーツ振興事業・水泳教室	588	686	460
スポーツ振興事業・少年野球教室	265	32	94
スポーツ振興事業・ノルディックウォーキング教室			

#### 5. 個別項目評価 ※指定管理者と市の所管課が評価

評価基準 A（優良）：計画された業務水準を大きく超える、独自の取組を実施するなど、特にめざましい成果をあげることが見込まれる。

B（適正）：適正に指定管理業務を行っており、計画された業務水準を達成できることが見込まれる。

C（要改善）：指定管理業務の一部に課題があると認められ、改善の余地がある。

評価項目	自己評価	市の評価
(1) 施設設置目的に添ったサービス向上に関する取組み状況		
①開館時間、休館日等を守り、施設利便性の確保に努めたか。	B	B
②施設の使用許可、使用料減免等が適正、円滑に行われたか。	B	B
③利用者に対する接客マナー等、職員の勤務態度は適正だったか。	B	B
④利用者の意見を聴取し、それらを反映する取組みを行ったか。	B	B
(2) 利用促進に関する取組み状況		
①施設利便性を高める努力を行い、効果が得られたか。	B	B
②潜在的な利用者等に営業広報活動を行い、利用アピールをしたか。	B	B
③自主事業を企画・実施し、効果が得られたか。	B	B
(3) 効率性の向上に関する取組み状況		
①施設管理経費を低減するための取組みを行い、効果があったか。	B	B
②収入増を図るための取組みを行い、効果があったか。	B	B
③職員の資質・能力向上を図る取組みがされたか。	B	B
(4) 施設の適正な維持・管理に関する取組み状況		
①施設の維持管理、運営に当たる人員配置は適正であったか。	B	B
②設備・備品の維持管理及び修繕が適切に行われたか。	B	C
③労働関係法令等を遵守し、適正な管理を行ったか。	B	B
④利用料金の収受及び施設管理経費の支出は適正であったか。	B	B
(5) 平等利用、安全対策、危機管理等に関する取組み状況		
①利用者が平等に利用できるよう施設利用情報提供に配慮したか。	B	B
②日常の事故防止等の安全対策は適切であったか。	B	C
③防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であったか。	B	B
④利用者の個人情報保護は徹底されていたか。	B	B

#### 6. 指定管理者総合評価 ㊤自己評価をAとした項目の内容及びCとした項目についての改善策を記載すること。

今期は、コロナ禍の影響で混乱も生じた。これからも行動自粛の影響は続くものの平時への回復について期待をしている。

新型コロナ対策として、スポーツ庁の示すガイドラインを参考にマニュアルを整備することで施

設の安全、スタッフの安全、利用者の安全について努力をしてきた。

夏休みの行動自粛が大きかったものの、安全性を前面にアピールして利用促進につなげるための努力を継続したい。

施設の安全を確保するため、施設内の消毒について対応してきた。

新しい生活様式の実践に伴い「マスク着用」について、遊泳施設はマスクを着用できないことから、保護者等のプールサイドへの立ち入り制限に協力をしてもらっている。プールの空間、環境については、持ち込まないための方策を講じている。

今期は、教育訓練について内部の実施にとどまっている。資格取得については発生地域への外出、感染を避けるため見送ることになる模様。

計画にある消防訓練、救助訓練はもとより、施設のサービス向上のための従事員研修は適時に実施した。また新型コロナ対応マニュアルを徹底するために時間を設けて理解を深めてきた。

自主事業については、利用促進に大きく寄与している。

水泳教室は、6月の開催を断念したものの7月から開催している。3密を避けるため定員を縮小したがコマ数を多くするなど工夫しており、その効果は1,000人を見込んでいる。

着衣水泳教室も防災意識を高める取り組みとして開催した。女性限定も口コミが広がって受講者が増えるなど一定の効果もあり、今後の活性化につなげたい。

少年軟式野球大会も開催にこぎつけた。コロナ禍の不安があったが、大会中止が多かったこともあり選手は伸び伸びプレーをしてくれた。サポートしている私たちも元気を分けてもらい、今後の充実につなげたいと感じた。

これまで当施設を管理してきた経験を活かして、効果的な運営実績を報告できるよう、更なる努力をする所存である。

## 7. 市の所管課総合評価 ㊤市の評価をCとした項目についての指導内容も記載すること。

4月に新型コロナウイルス感染症拡大により、緊急事態宣言が発令され、大畑中央公園のみならず、市内公共施設においても休止措置が取られる異例のスタートとなった。5月に入り、緊急事態宣言は解除されたが、新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、予定されていたスポーツ大会や各イベントも中止・延期となり、利用者数・利用料収入は減少した。しかし、こうした状況下でも、各施設の利用者数・利用料収入を月ごとにみると、昨年度を上回っている月があり、自主事業をはじめとした指定管理者の運営努力が十分見て取れる。また、独自の対応マニュアルを作成し、感染防止に努めていることも評価したい。新型コロナウイルス感染症対策を行いながらの運営は、相当な労力を要することであり、その中でも大畑中央公園の利用促進に尽力していただいていることについては心より感謝申し上げたい。

一方、今年公園遊具の点検結果で「修繕または対策が必要」と判定された遊具に対し、特に処置が行われなかったことについては残念に思う。点検結果で問題が判明しているにも関わらず、何も処置が行わなければ何のための点検なのかと指摘せざるを得ない。よって、「設備・備品の維持管理及び修繕が適切に行われたか。」の項目についてはC評価とした。現在、市で遊具の更新・撤去・修繕について検討を行っているので、来年度の点検後には、点検結果をもとに修繕・対策、今後の使用の可否等について協議を行いたい。

また、昨年度に引き続き、草刈り中の飛び石による事故が発生したことから、「日常の事故防止等

の安全対策は適切であったか。」の項目についてはC評価とした。今回の事故は、対人被害は無く、プールのガラスが割れただけで済んだことは不幸中の幸いではあったが、平成30年度から事故が続いていることから、職員のみならず、業務委託を委託している受注者にも事故防止の安全対策の徹底を図っていただきたい。